

第8回 日本オープンイノベーション大賞

賞名	プロジェクト名
内閣総理大臣賞	「もう一度、話す喜びを！」ニッチだがアンメットニーズに対峙した臨床家のオープンイノベーションの挑戦
科学技術政策担当大臣賞	ロボット手術で血管テーピングを安全・円滑に行う革新的デバイス「ヴェスガイド」の開発とその臨床応用
総務大臣賞	デジタルインフラと地球環境の両立する洋上データセンター
文部科学大臣賞	地方創生を加速する双方向循環型産学共創モデル-技術知と人材の好循環を生み出す地域共創の新機軸-
厚生労働大臣賞	産学官連携による世界初の歯周病治療器「ブルーラジカル P-01」・行動変容アプリ「ベリミル」の社会実装
農林水産大臣賞	スカブター:AI・AR 技術による非接触型体重推定デバイスの社会実装
経済産業大臣賞	アカデミアと企業の連携による抗COVID-19薬の開発研究と社会実装
国土交通大臣賞	共同輸送データベースの普及による持続可能な物流～フィジカルインターネットの実現
環境大臣賞	産学官連携によるフードロス削減と食品端材の再価値化による持続可能な共創モデルの構築
スポーツ庁長官賞	ミノムシ由来強靱繊維を活用したスポーツ構造材の開発
経団連会長賞	ビジョン共有で社会課題を解決する新たな産学協創モデル「日立東大ラボ」
日本学術会議会長賞	分野も組織も世代も越える研究ポスター発表形式（通称:100人論文）による本質対話とマッチング創出



東京医歯学総合研究所の山田社長（右から2人目）と小野田科技政策担当大臣（右端）ら

「もう一度、話す喜びを！」ニッチだがアンメットニーズに対峙した臨床家のオープンイノベーションの挑戦」が決まった。この賞は、オープンイノベーションのロールモデルとなる先導的・独創的な取り組みを表彰し、日本国内のイノベーション創出を加速するため、2018年に創設された。政府各省庁の担当分野ごとに大臣賞、また、経済団体、学術団体の会長賞も設けている。

東京医歯学総合研究所は、東京医科歯科大学（現、東京科学大学）の研究成果を基盤として設立された大学発ベンチャー。今回、同社と科学大、民間企業群（電機、電線、医療機器）が連携し、口腔内の動きのみで発声が可能となるマウスピース型人工喉頭「Voice Retriever」を開発した。

口唇・舌が動き、マウスピースさえ装着できれば、装着初日から会話が可能となるという。審査員からは「多様なステークホルダーが介在している」「グローバルニッチトップも目指すことができる有望なプロダクト」といったコメントが寄せられている。

同日、表彰式が東京都内で行われ、小野田紀美科学技術政策担当大臣より、同社の山田大志社長に表彰状等が授与された。山田社長は「社内外を問わずチームすべての取り組みが表彰された。オープンイノベーションの架け橋となるような研究開発をこれからも続けていきたい」と喜びを語った。

「もう一度話す喜び」、最高賞にマウスピース型人工喉頭

「もう一度、話す喜びを！」ニッチだがアンメットニーズに対峙した臨床家のオープンイノベーションの挑戦」が決まった。この賞は、オープンイノベーションのロールモデルとなる先導的・独創的な取り組みを表彰し、日本国内のイノベーション創出を加速するため、2018年に創設された。政府各省庁の担当分野ごとに大臣賞、また、経済団体、学術団体の会長賞も設けている。

東京医歯学総合研究所は、東京医科歯科大学（現、東京科学大学）の研究成果を基盤として設立された大学発ベンチャー。今回、同社と科学大、民間企業群（電機、電線、医療機器）が連携し、口腔内の動きのみで発声が可能となるマウスピース型人工喉頭「Voice Retriever」を開発した。

日本オープンイノベーション大賞

「もう一度話す喜び」、最高賞にマウスピース型人工喉頭